

罰則とその施行

発生 コード	ファウル名	次ダウン	罰則	施行 地点	担当審判				適用	キックス on/off		ルールブック掲載箇所		
					R	SJ	DI	FI		ルール	セクション	プレータイプ		
AFD: オートテックファウルズダウン LOD: ロスオフバウンド REP: レポート BS: ベンチスボックス SF: スポットオフファウル (原則地点) SL: スタックメージャン LOS: ラインオフ / スタックメージャン DB: ボールデッド地点														
O/D	パスインターフェア	D: AFD O: LOD	10	BS					・ショットヤードはDIは補正する ・ボールがパサーの手から離れてタッチされるまで妨害を意図した接触行為 ・ディフェンス側に接触回避義務あり ・パス投球前およびLOSを超えないパスでの接触はイリーガルな状況となる	off	7	3	3	
O/D	イリーガルコンタクト	D: AFD O: LOD	10	BS					・意図的な選手・審判への接触 ・踏みつける、飛びつく、殴む ・静止状態 (後方場所) の選手への接触 ・ランナーの接触回避義務の違反 ・パス投球前のレシーバーへの優先連絡妨害 (ボールが空中にある間は平等、双方に回避義務有) ・アプリアーへの意図的接触物 (接触が伴わない場合でもシールドイングの反則となる場合あり)	off	9	1	1	
O/D	エイミング	D: AFD O: LOD	10	BS					いかなる選手もエイミングを行ってはならない ・場外場内上にある選手も同様 / 触球は禁止 ・ランナーが保持しているボールを奪い取る	off	9	1	1	
O/D	試合の妨害	D: AFD O: LOD	10	BS					交代選手 / コーチによる試合中のボール / 選手 / 審判に対する接触や妨害 (サイドラインにおける審判進路への侵入等)	off	9	1	2	
O/D	アンスポーズマンライコンタクト	REP	10	DB					・脅迫的もしくは品性を損なう言動や身振りの使用 または、敬意や尊重を与えないような行為を行う ・ボールやフラッグを送らない / ゲームの遅延等 ・2回目は退場となる	off	9	2	1	

用語	説明・補足
ベンチスボックス	原則はスタックメージャンを指す。下記例外事項を参照 例外①: LOSを超えてパスを反則→反則地点 例外②: LOSを超えてパスを反則→反則地点 例外③: LOSを超えてパスを反則→反則地点 例外④: LOSを超えてパスを反則→反則地点 例外⑤: LOSを超えてパスを反則→反則地点 例外⑥: LOSを超えてパスを反則→反則地点
特別な罰則施行タイミング	・TDプレイ中の連続得点チームの反則施行→トライポイント(TFP)時に施行 ・TD後からTFPのレディフォー・プレイ前までの反則施行→TFP時に施行 ・TFPプレイ中の連続得点チームの反則施行→失守文書後、次のスタップ時に施行 ・TDプレイ中とTFPプレイ中に絡みあがるのは10ヤードの罰則のみ
得点	TFP (S yard) : 3点 TFP (1 yard) : 2点 TFP (DFインスター-TD) : 2点 ポイント : 2点
シールドイング	TFP中のセーフティ : 1点 接触 / 非接触で相手の進路をふさぐ行為 ・パスを投げられるまでの攻撃選手への連絡妨害 ・LOSを超えてからのバックワードパス
コンタクト (接触)	相手選手に妨害を伴う接触行為。重罪のない「触れ」のはコンタクトではない ・重罪がなくとも触れや重罪での接触を妨げれば上記シールドイングが適用
フラッグガードイング	・手・足・顔などでフラッグを触る事 ・前触れを犯す事 ・罰を科して相手のフラッグを妨害する事

発生 コード	ファウル名	次ダウン	罰則	施行 地点	担当審判				適用	キックス on/off		ルールブック掲載箇所		
R	SJ	DI	FI	ルール	セクション	プレータイプ								
O	デイレイオフパス	LOD	0	SL					スタップ後7秒以内にパスをハンドオフする	on	7	1	3	
O/D	イリーガルタッチ	LOD	0	SL					アウトオブバウンズした選手が戻ってボールに触る 触れ続けられて出て戻った場合はOK クォーターバックは自分が投げたパスには、相手のディフェンス選手が触れた後のみボールをキャッチすることが認められる。 ・LOSを超えてからのパスが投げられた ・ランナーが一旦スタックメージャンを超えた後、ボールが投げられた ・オフェンスが同一のダウン中に2回目のフォワードパスを行った ・ダウン中のチームの攻守交代後にボールが投げられた	off	7	2	5	
O	イリーガルフォワードパス	LOD	5	SF					・LOSを超えてからのバックワードパス	off	7	3	2	
O	イリーガルバックワードパス	LOD	5	SF					・LOSを超えてからのバックワードパス	off	7	2	1	
O	ジャンピングダイビング	LOD	5	SF					・フラッグ回避のための前触れも含む	off	9	2	2	
O	フラッグガードイング	LOD	5	SF					ボールキャリアがフラッグを取らないように手や顔、ボールなどを携えてフラッグブルを妨害した場合	on	9	2	2	
O	イリーガルキック (ランナー)	REP	5	DB					ボールキャリアがボールを蹴ってパスした場合	on	6	1	1	
O	イリーガルスタップ	REP	5	DB					1. レディフォー・プレイ前のスタップ 以下はレディフォー・プレイ後のスタップ 2. スタップの体触 (ボールの持ち上げ、前に動かす等) 3. 素早く連続した動きではないスタップ 4. ボールの短冊をエンドゾーンに前けたスタップ	on	7	1	1	
O	デイレイオフゲーム	REP	5	DB					2秒経過	on	7	1	1	
O	エンクローメント	REP	5	SL					セットからのスタップ間のオフェンス選手の位置違反 ショット終了前のスタップ	on	7	1	3	
O	ファウルスター	REP	5	SL					秒静止違反、ファウルスター誘発行為、開始体触	on	7	1	3	
O	イリーガルモーション	REP	5	SL					前方へのモーション	off	7	1	3	
O	イリーガルランプレイ	REP	5	SL					QBラン、ノータッチゾーン内での素フォワードパスプレイ	off	7	1	3	
D	オフサイド	REP	5	SL					スタップ前のディフェンス選手のポジション スタップ完了前のボール接触	on	7	1	4	
D	イリーガルグナル	REP	5	SL					アプリアーが明確に手を上げない 肩より上に手を上げない	on	7	1	4	
D	イリーガルグリップ	REP	5	SL					7yd未満からのグリップ	off	7	1	4	
D	イリーガルグリップングナル	REP	5	SL					7yd以上のグリップングナル 7yd未満のグリップングナル	on	7	1	4	
O/D	不正な交代	REP	5	SL					オフェンス: ボールデッドからスタックへのボール接触まで ディフェンス: ボールデッドからスタップまで	off	9	3	1	
O	イリーガルハンドオフ	LOD	5	BS					LOSより前方にいる選手へのハンドオフ	off	7	1	5	
O/D	シールドイング	REP	5	BS					スタックへの前方ハンドオフ	off	9	2	2	
O/D	イリーガルフラッグプル	REP	5	BS					連絡連絡妨害 (接触を伴わない)	off	9	2	2	
O/D	パスのイリーガルキック	REP	5	BS					オフェンス側ではパスOK	off	9	2	2	
O/D	サイドライン妨害	REP	5	SL					コーチ、選手によるプレイ妨害 (ダウン中チームエリアの外に出る行為)	off	9	2	2	
O/D	不正参加	REP	5	BS					6名以上の参加	off	9	2	2	
O/D	【イイオレーション】不正な参加のままプレイ	NEXT							強制的なタイムアウトを取る タイムアウトなければSLから5yd罰退	on	9	2	2	
O/D	【イイオレーション】職員不備のままプレイ	NEXT							強制的なタイムアウトを取る タイムアウトなければSLから5yd罰退	on	9	2	2	
O/D	【イイオレーション】出場状態のままプレイ	NEXT							強制的なタイムアウトを取る タイムアウトなければSLから5yd罰退	on	9	2	2	

用語	説明・補足
記録保持	・基本場内・基本場外・基本場外 ・ランナーの記録保持 (ボールキャリアが記録する義務がある) ・選手が静止している状態の場所
優先場所	・ブレイク宣言をしたアプリアーの内側の記録保持 (触球条件付きあり) ・パスが投げられるまでのオフェンス選手の記録
優先記録	・フォースダウン記録 ・失守交代時 ・反則の施行時 ・アウトオブバウンズ ・パスアイコンダクト ・進路妨害 ・タイムアウト記録時
正式計時 / 停止条件	・レセピエタイムアウト (オフシールド、タイムアウト) ・進路によるタイムアウト (無関係なフィールド外への触球のため) →当該選手は1プレイ参加不可 ・不正審判 / 悪徳不良 / 出血選手のフィールド退出報告 (ルールブック 9-2-2-h) →チームタイムアウトを取らせる (触球ゼロなら5yd罰退)
タイムアウト	・ライブボールアウトオブバウンズした時 ・ランナーがアウトオブバウンズした時 ・ランナーの体 (体の中心から足の裏を境) の一部が地面についた時 (AR 4-1-2-1) ・ランナーが地面に膝をくっつけた場合 ・パスまたはファンブル (前方または後方) が地面に着いた場合 ・ファンブルした選手のチームメイトが、ボールに触れた場合 ・設置しているフラッグが2本未満の選手がボールを所持している場合 (AR 4-1-2-1) ・正しい位置にフラッグが置いていない選手がボールを所持しており かつその選手本人にフラッグ位置の責任がある場合 ・失守交代時、失守バウンド、セーフティ、トライフォーポイントが成立した場合 ・ボールデッドとなる反則 (不正なキックまたはデイレイオフパス) が起きた場合 ・審判が不注意にボールを触った場合は、ボールデッドとなる。 その時点でボールを保持しているチームは、ボールデッドが宣言された時点で プレイを次に進めるか、またはダウンをやり直すかを選択できる ・上記以外に審判がプレイを止める必要があると判断された場合
プレイ制限の解除	・パス後 ・パス後
チャレンジ	※決定権を参照